

令和2年（2020年）5月19日

教育庁教育政策課

令和元年度「学校非公式サイトに係る調査」の年間結果の公表

～ 不適切な書き込みが平成30年度から547件減少 ～

熊本県教育委員会では、上記調査について、専門業者に業務委託し、不適切な書き込み等について各学校が適切に対応できるよう支援しています。この度、年間の調査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。（詳細は別添のとおり）

調査結果の概要

●書き込み件数

	【H30】		【R1】
書き込み全体	1,287件	→	740件（-547件）
月平均	107件	→	62件（-45件）

【POINT】書き込み件数が547件減少となった。

●書き込み内容

	【H30】		【R1】
「個人情報の流布」	95.1%	→	90.3%（-4.8ポイント）
「その他」	4.1%	→	9.5%（+5.4ポイント）
「いじめ・中傷」	0.5%	→	0.2%（-0.3ポイント）
「トラブル」	0.3%	→	0.0%（-0.3ポイント）

【POINT】前年度の調査と同様に、「個人情報の流布」の割合が高かった。

●リスクレベル

	【H30】		【R1】
低レベル	1,287件	→	740件（-547件）
中レベル	0件	→	0件（±0件）

【POINT】低レベルの検知が減少。中レベルの書き込みはなし。

●校種の割合

	【H30】		【R1】
中学校	382件	→	55件（-85.6%）
高等学校	902件	→	683件（-24.3%）
特別支援学校	3件	→	2件（-33.3%）

【POINT】全校種にて減少傾向。今後も全校種での情報モラル教育の充実を図る。

熊本県教育庁教育政策課（教育情報化推進室）

担当：葉玉、櫻井

TEL：096-333-2673 内線：6619

(別添)

「学校非公式サイトに係る調査」結果報告

1 調査結果の詳細

(1) 目的

「学校非公式サイト」における不適切な書き込み等について、専門の業者にそれらの検索・調査・削除代行等の業務を委託し、各学校が問題のある書き込みなどに対して適切に対応できるように支援する。

(2) 調査対象の学校

熊本市を除く県内すべての公立の中学校、高等学校、特別支援学校の合計189校を対象（政令市移行に伴い熊本市は平成24年度から独自に実施）

(3) 調査期間

平成31年（2019年）4月 ～ 令和2年（2020年）3月

(4) 調査業者

ネット監視調査専門業者「ピットクルー株式会社（東京都）」

(5) 調査方法

- ①キーワード等による学校ごとの検索（インターネット及び携帯電話のサイト）
- ②検索結果を目視で確認。
- ③以下の3段階のレベルで、書き込み内容を判別。

レベル	具体的内容	対応・対策
高	・犯罪予告や児童生徒の生命に関わる事など緊急性の高いもの。	・内容により、県警等とも連携し即時対応。 ・削除依頼代行及び継続調査 ・緊急報告で、市町村教育委員会・関係学校へ書き込み内容等を連絡し指導を依頼する。
中	・緊急性はないものの、早期の指導・対応等が望ましいもの。	・削除依頼代行及び継続調査 ・緊急報告で、市町村教育委員会・関係学校へ書き込み内容等を連絡し指導を依頼する。
低	・緊急性はないが、必要に応じて適切な指導・対応等が望ましいもの	・定期報告で、市町村教育委員会・学校へ連絡し、適切な対応を依頼する。

(6) 調査・対応の流れ

①緊急報告

- ・レベル高またはレベル中については、即時に対応し、緊急報告を作成。
- ・緊急報告は、関係する教育委員会・学校に即日送付し、対応を依頼。

②定期報告

- ・指導資料となる各学校単位の報告書、教育委員会単位の集計分析をまとめた報告書を、上半期、下半期の合計2回を送付。

③事後対応

- ・学校で対応しにくい記事の削除を調査業者が依頼代行を実施。
- ・レベル中以上の書き込み事例については、継続的に調査を進める。

2 調査結果

(1) 不適切な書き込みの総数

- ・不適切な書き込みの総数は、全体で740件であった。校種別では、中学校が7.4% (55件)、高等学校が92.3% (683件)、特別支援学校が0.3% (2件)であった。

【校種の内訳・推移】

	中学校	高等学校	特別支援学校
通年	7.4% (55件)	92.3% (683件)	0.3% (2件)
上半期 (4~9月)	3.7% (15件)	96.3% (387件)	0.0% (0件)
下半期 (10~3月)	11.8% (40件)	87.6% (296件)	0.6% (2件)

(2) 前年度との比較

- ・1か月平均の書き込み件数62件は、30年度の107件と比較して、減少傾向であるが、継続的な実態把握と日常的な指導や注意喚起が今後も必要である。
- ・中レベル0件、低レベル740件は、30年度（中レベル0件、低レベル1,287件）と比較し、低レベルは減少となった。
- ・校種別では、中学校が、30年度（382件）から、令和元年度（55件）と85.6%減少
高等学校が、30年度（902件）から、令和元年度（683件）と24.3%減少
特別支援学校が、30年度（3件）から、令和元年度（2件）と33.3%減少となった。

【検知件数（昨年度との比較）】

	R1(2019)	H30(2018)	増減
月平均	62件	107件	-45件
合計	740件	1,287件	-547件
レベル高	0件	0件	±0件
レベル中	0件	0件	±0件
レベル低	740件	1,287件	-547件

※月平均は、合計÷12か月で計算したもの。

【リスクレベルの内訳・推移】

	高レベル	中レベル	低レベル
年間	0件	0件	740件
上半期	0件	0件	402件
下半期	0件	0件	338件

(3) 書き込み内容

- ・書き込みの内容別では、「個人情報の流布」が90.3%、「いじめ・中傷」が0.2%、「不法行為」0.0%、「トラブル」0.0%、「その他（学校の悪評等）」が9.5%であり、前年度の調査と同様に、「個人情報の流布」の割合が高かった。
(前年度95.1%)

【低レベルの内訳・推移】

	いじめ 中傷	不法行為	トラブル	個人情報の 流布	その他	合計
年間	2件	0件	0件	668件	70件	740件
上半期	1件	0件	0件	380件	21件	402件
下半期	1件	0件	0件	288件	49件	338件

3 対応や指導の状況

(1) 高等学校への注意喚起

- ・令和元年度は、全校種にて書き込みが減少したが、引き続き、高等学校からの検知が多くを占めていることから、**高等学校に継続して注意喚起を行うとともに情報モラル教育の充実**を図り、携帯電話やインターネットの安全な利用を推進する。

4 令和2年度の展開

(1) 調査事業の実施

令和2年度も、専門業者に検索・調査・削除代行等を委託し、令和元年度の調査結果との比較を行い、早期解決と書き込み数の減少を目指す。

(2) スマートフォン等の新たな機器の適切な利用に関する対策・啓発

スマートフォンやゲーム機器等の適切な利用や利用の低年齢化に対応した対策を検討するとともに、学校や家庭に対してスマートフォンやゲーム機器等の適切な利用を啓発する。

(3) 家庭向け指導資料の改訂

家庭向け指導資料を改訂して、学校・家庭が連携した情報モラル教育の取組みを促進する。※参照：携帯電話・インターネットの利用に関する家庭向け指導資料

(4) 学校やPTA等の研修会での活用促進

学校やPTA等の研修会の中で、調査結果や早期解決するための事例紹介等の情報提供を行う。

〔添付資料〕

「学校非公式サイト調査報告（概要）令和元年度 熊本県 平成31年（2019年）4月1日～令和2年（2020年）3月19日」

熊本県教育庁教育政策課(教育情報化推進室) 担当：葉玉、櫻井 TEL：096-333-2673 内線：6619 suenaga-a@pref.kumamoto.lg.jp suenaga-a@pre

取扱注意

熊本県教育庁御中

『令和元年度安心安全ネット社会推進事業』
に係る調査等業務委託報告書
(通期報告)

作成日	2020/3/19
作成者	ピットクルー株式会社



▼調査概略

この報告書は当社が熊本県教育委員会からの委託により作成したものです。（熊本県教育委員会教育政策課 電話：096-333-2673）
（調査内容に関するお問い合わせは当社までご連絡ください メールアドレス:kumamoto_edu@pit-crew.co.jp ）

－ 名称等に関する補足事項

学校区分・・・中学校、高等学校、特別支援学校の3種に分類。

サイト種別・・・BBS(スレッドフロート型)、BBS(独立型)、Blog、リアル、プロフィール、ゲーム・SNS、HP作成サービスの7種に分類。

BBS(スレッドフロート型)：最後に投稿したスレッドが最上段に表示されるBBS

BBS(独立型)：単独で設置されているBBS

Blog：Weblogの略。日記形式で日々の感想を綴るサイト

リアル：利用者の状況を短い文章でリアルタイムに公開することを目的とした簡易ブログサイト

プロフィール：通称プロフ。自身のプロフィールを公開したサイト

ゲーム・SNS：コミュニケーションが目的の会員制サイト

HP作成サービス：上記にあてはまらないサイト

対象・・・他の児童・生徒、学校・教職員、その他(保護者・親族など)、対象なし(自身・独白)の4種に分類。

他の児童・生徒：対象が他の児童・生徒 その他(保護者・親族など)：対象が親・兄弟など

学校・教職員：対象が学校・教職員 対象なし(自身・独白)：対象がない場合や自分に対して

－ リスクレベル

書き込みの内容によってリスクポイントを加算し、その合計点でリスクレベル高・中・低を判断します。

(1)リスクレベル高(リスクポイント7以上)

犯罪予告や児童生徒の生命に関わる事など緊急性の高い内容。

(2)リスクレベル中(リスクポイント6程度)

緊急性はないものの、早期の指導・対応等が望ましい内容。

(3)リスクレベル低(リスクポイント2～5程度)

緊急性はないが、必要に応じて適切な指導・対応等が望ましい内容。

(4)リスクレベルの基準は、運用途中で見直しを行う場合もあります。

大分類
いじめ・中傷
不法行為
トラブル
個人情報の流布
その他

検知した投稿は、既定の分類(「いじめ・中傷/不法行為/トラブル/個人情報の流布/その他」)ごとに、一定の基準に従ってリスクポイントを加算し、その合計で最終的なリスクレベルを判断します。

－ 表示形式

除算に関する表記は、小数点以下1桁で統一していますが、1桁表記で0になってしまうもののみ小数点以下2桁で表示しています。

－ 免責事項

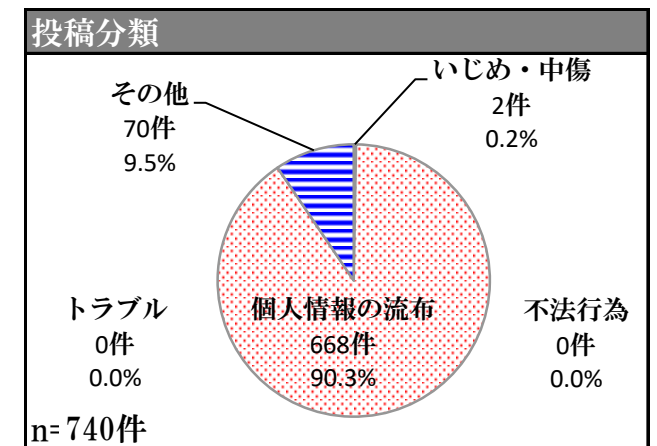
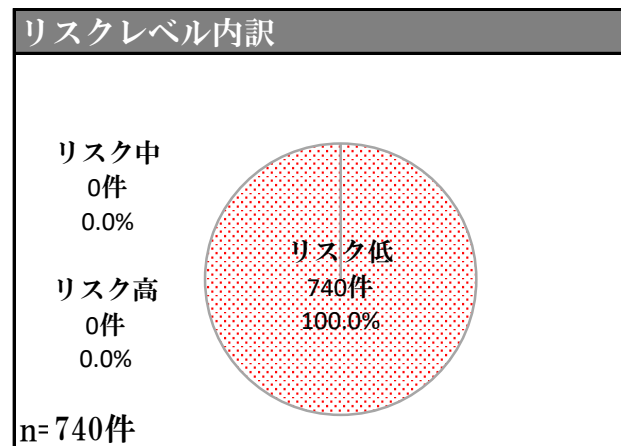
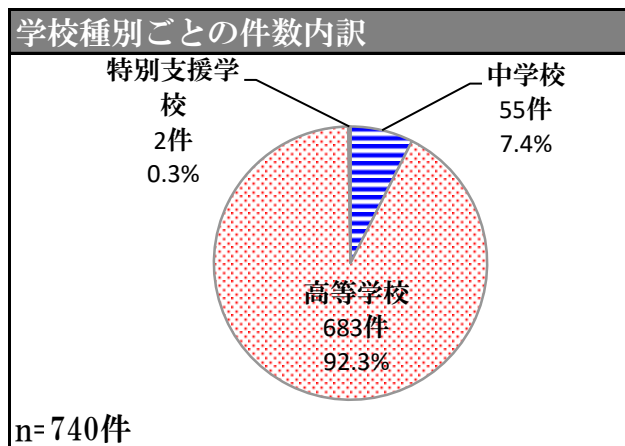
本報告書に掲載する情報は、お客様からのご依頼に基づき、当社がインターネットのサイトを検索した結果であり、投稿内容の真実性や検索の完全性について保証するものではありません。また、当社が本報告書に記載するコメントその他の記載については、当社の経験則等から傾向を分析した参考意見であり、当社は、お客様が本報告書の記載事項に基づき行った判断、行動ならびに開示などによって生じたいかなる損害についても免責されるものとします。

学校非公式サイト調査報告 令和元年度 熊本県

調査実施期間 平成31年4月1日（月）～令和2年3月19日（木）

学校種別	高等学校	中学校	特別支援学校	合計
調査対象学校数	50校	120校	19校	189校
投稿検知学校数	45校(90.0%)	33校(27.5%)	2校(10.5%)	80校(42.3%)

学校種別	高等学校			中学校			特別支援学校			合計
	高	中	低	高	中	低	高	中	低	
いじめ・中傷	0件	0件	0件	0件	0件	2件	0件	0件	0件	2件 (0.2%)
不法行為	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件 (0.0%)
トラブル	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件 (0.0%)
個人情報の流布	0件	0件	634件	0件	0件	33件	0件	0件	1件	668件 (90.3%)
その他	0件	0件	49件	0件	0件	20件	0件	0件	1件	70件 (9.5%)
合計	0件	0件	683件	0件	0件	55件	0件	0件	2件	740件
	683件 (92.3%)			55件 (7.4%)			2件 (0.3%)			



令和元年度の総検知数は740件となりました。内訳は、学校種別でみると高等学校が683件（92.3%）、中学校が55件（7.4%）、特別支援学校が2件（0.3%）となっており、高等学校の検知が目立ちます。

リスクレベルに関しましては、リスクレベル低740件（100.0%）となっており、リスクレベル中、リスクレベル高の投稿は検知されませんでした。

投稿分類別では、「個人情報の流布」が668件（90.3%）、「その他」が70件（9.5%）、「いじめ・中傷」の投稿が2件（0.2%）となり、9割以上の投稿が「個人情報の流布」で占められています。

なお、「トラブル」「不法行為」からの投稿は検知されませんでした。